

白聖

第6号 平成29年3月22日発行
題字 福井陽子



平成29年入試合格状況

三月一日に巣立って行った67回生の進路状況について、国公立前期判断分までをお知らせしたいと思います。

国公立大推薦・AOの状況

まず今年の大学入試の概況ですが、高大接続改革の大きな流れに沿って、今年も入試方式の変更が各大学で行われました。大きな傾向としては文系学部は定員減、後期入試の廃止もしくは定員減、AO・推薦の定員増が挙げられます。たとえば弘前大学はすべての学部が推薦からAOに変更となり、医学部保健学科は後期日程が廃止されました。東北大文学部AO〇期において

2017推薦・AO入試 合格者数		合計	44
●AO入試		●推薦入試	
国公立大学	29	国公立大学	13
北海道大医・看護	1	はこだて未来大	1
弘前大医・医	13	岩手大・理工	1
弘前大医・保健	4	宮城教育大・初等	1
弘前大・人文社会	3	宮城大・看護	1
弘前大・農生命	2	千葉大・文	1
東北大・工・建築	1	千葉大・看護	1
東北大・文	1	筑波大・生命環境	1
東北大・医・医	1	筑波大・人間学群	1
東北大・法	1	横浜国立・教育人間	1
筑波大・情報学群	1	横浜国立・経営	2
弘前大・理工	1	富山大・薬	1
私立大学	2	長岡造形大	1
早稲田大・創造理工	1		
早稲田大・教育	1		

募集人員が10↓20増員されるなど、本校の生徒が志望する大学でもその傾向が顕著でした。

弘前大学医学科AO入試ですが今年は13名の生徒が合格しました。昨年の10名に続き、さらに多くの志望者が合格を勝ち取りました。躍進したと言つてよいでしょう。昨年度から「Mプロジェクト」と銘打ち、2年生の三学期から医学部志望者を集団化して組織し、より実践的で継続的なきめ細かい指導を行いました。医師を志す生徒の「チーム感」が切磋琢磨する機運を高め、センター試験でも高得点を取ることが出来たようです。早期から志望理由書などの作成に着手し、志願者同士励まし合いながらワークショップ演習や面接練習に取り組んだ成果だと思えます。一般入試でも2名が合格しましたが、その要因の一つには、この取り組みを通じて培った自己表現力が面接試験で生かされたことが挙げられます。加えて東北大医学部医学科にもAO〇期で1名を輩出しました。

その他の学部のAO推薦入試についても、健闘しました。昨年度から「AOプロジェクト」をスタートさせましたが、全校体制での指導をより適切な形に整備し、夏休み前の指導をより手厚く行いました。その甲斐あってか、じっくり時間をかけて志望分野の研究、志望理由書等の作成を行うことができたようです。とは言え、合格した生徒たちは、自分で早期からスケジュールを組み、「進路ノート」を作成して新聞記事のスクラップや関連書籍の内容まと

めなどを実践していました。そうした各自の熱意と努力があつてこそ、指導が生きるのであつて、合格者の意志の強さ、影の地道な努力に最大限の敬意を表したいと思います。

今年のおピックとしては、AO入試で私大難関の早稲田大に2名合格したことが挙げられます。いままで私大受験は一般入試やセンター利用が中心でしたが、学びたいものがはっきりしているならば、多様な人材を求めている慶應義塾・早稲田等もAOから挑戦するビジョンを持つておくべきでしょう。

一般入試の状況

一般入試国公立前期ですが、合計で80名の合格でした。東京大理科一類に1名他、首都圏や関西等の難関大は堅調な結果でした。弘大医学科2名合格も大健闘です。広く全国を見据え出願したことも一因ですが、東北大へ出願者が例年より少なく、合格者も法学部のみ3人とどまった点は残念です。

2017国公立前期 合格者数	80
北海道大	5
弘前大・医・医	2
弘前大	24
東北大	3
東京大	1
お茶の水女子	2
一橋大	1
千葉大	3
筑波大	2
首都大東京	1
神戸大	2
大阪大	2
その他	32

新3年生 3-4月の目標	新2年生 3-4月の目標
春休みは受験の天王山と心得よ！	この一ヶ月が2年生のスタートダッシュと心得よ！

●行事レポート1
Sプロジェクト

第3回学力向上セミナー

2月25日(土)～26日(日)

夏季・冬季に続き、「医師を志す高校生支援事業」学力向上セミナーが青森東高校を会場に実施されました。県教育委員会主催の本事業は、医学科および難関大学を志望する1・2年生を対象に、予備校講師を招いて二日間の集中講義を行うものです。本校生徒だけでなく、東青・下北地区の高校生約二百人が一堂に会し、難度の高い内容の授業を受けました。参加者からは「説明もわかりやすく、力になった」「勧められた本を読んでみようと思う」など、さらに意欲が向上したようでした。学年末のいま、自分の克服すべき課題を具体化して、学んだことを生かしてほしいものです。参加した諸君は、いま一度テキストを復習してみよう。

●行事レポート2
AOプロジェクト

新3年生AO入試受験希望者集会

3月3日(金)

新3年生の受験に向けた活動が本格始動しました。第一志望校進学のためにAO・推薦入試に挑戦したいと考えている新3年生およそ一二〇名が図書学習センターに集合しました。

この集会は、AO・推薦入試で合格した今年度の卒業生22名がチューターとして

後輩に向けてアドバイスをするワークショップを行うものです。学部系統別の10テーブルを4回めぐり、先輩と直接対話できる「ワールドカフェ方式」であったので、参加



生徒は非常に近い関係性を築くことができたようでした。合格を勝ち取った先輩方は、自分が書き直しを重ねた志望理由書や新聞記事のスクラップ、小論文・面接の構想をまとめた進路ノートなど、「努力の証」を持参し、テーブルを取り囲む後輩たちに熱く語ってくれました。生徒たちも熱心に耳を傾けて真剣な表情で質問し、大いに刺激を受けていたようでした。参加生徒からは「合格する人とは、ここまでゆるぎなく自分のビジョンを語る人なのだとかかった」などの、じかに接して「体感」しなければ語れないような感想が寄せられ、また、会が終了した後も時間の許す限り先輩に質問を重ねる生徒の真剣なまなざしも印象的でした。

●行事レポート3
Mプロジェクト

グループ課題研究(全5回)

2月21日(火)

医師を目指す集団「Mプロジェクト」の2年生25名のメンバーが、いま取り組んでいるのは、「グループ課題研究」です。現代の医療問題をテーマとして取り上げ、医師としてどう向き合い、何をすべきかをパネルにまとめ、発表します。各グループが討議を重ね、役割分担をしながら調べ学習に取り組んでいます。Mプロ生は市民図書館などから借りた本を持ち寄り、新聞の切り抜きや「Mプロノート」を作成していることもあって、非常に質の高い議論が行われています。最終的には個人レポートとしてまとめ、レポート集を作成する予定です。AO入試の志望理由書や活動レポート等にも直結させてほしいと思います。

なお、こうした取り組みは医学科に限らず、SGHのゼミ活動でも行われており、個々の活動実績が着実に積みあがっています。医学部志望以外の生徒も、これを生かしたAO・推薦入試を視野に入れよう。

Mプロ 課題研究テーマ

A班	耐性菌の脅威
B班	求められる緩和ケアの姿
C班	i P S細胞の未来
D班	安楽死
E班	医療事故から医師を守る
F班	出生前診断
G班	i P S細胞の再生医療への利用